

(5) 頼りたいと思う相手 (Q5 (1) ~ (10))

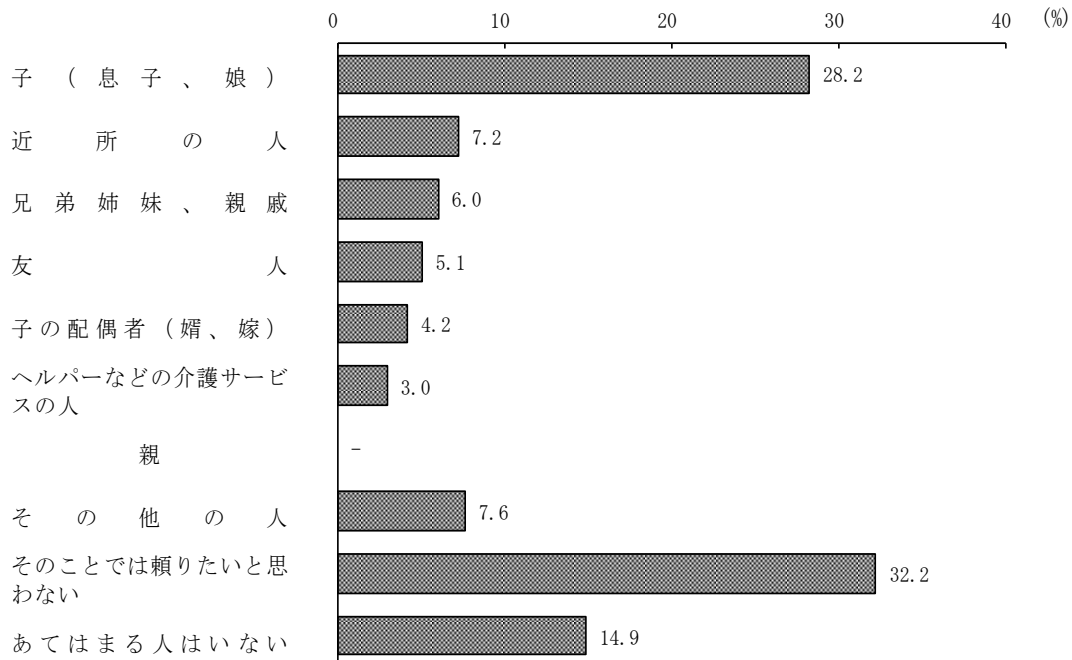
Q5 あなたは、次の事柄について、あてはまると感じる人はいますか。

(1) 電球の交換などの日常のちょっとした用事を頼みたい相手

頼りたいと思う相手のうち、(1) 電球の交換などの日常のちょっとした用事を頼みたい相手について聞いたところ、「子(息子、娘)」を挙げた者の割合が28.2%と高く、以下、「近所の人」(7.2%)、「兄弟姉妹、親戚」(6.0%)、「友人」(5.1%)などの順となっている。一方で、「そのことでは頼りたいと思わない」と答えた者は32.2%となっている(複数回答)。

頼りたいと思う相手 (Q5 (1) 電球の交換などの日常のちょっとした用事を頼みたい相手)

(複数回答)

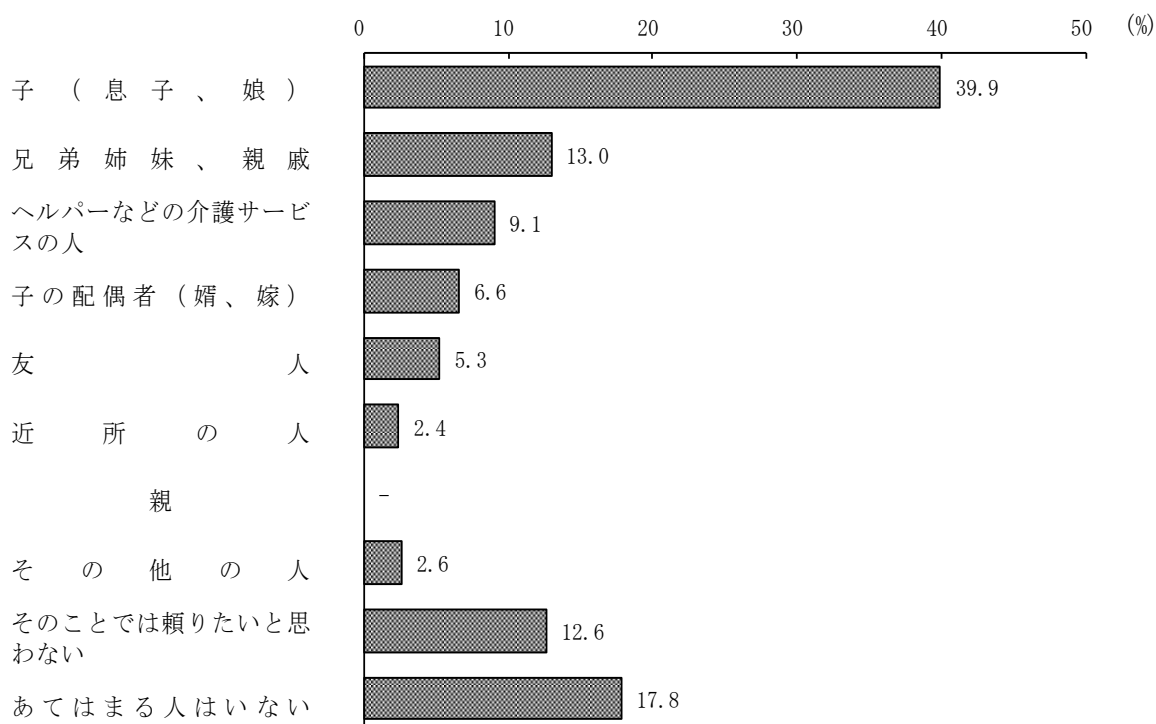


Q5 あなたは、次の事柄について、あてはまると感じる人はいますか。

(4) 病気で何日か寝込んだ時に看病や世話を頼みたい相手

頼りたいと思う相手のうち、(4) 病気で何日か寝込んだ時に看病や世話を頼みたい相手について聞いたところ、「子(息子、娘)」を挙げた者の割合が39.9%と高く、以下、「兄弟姉妹、親戚」(13.0%)、「ヘルパーなどの介護サービスの人」(9.1%)、「子の配偶者(婿、嫁)」(6.6%)、「友人」(5.3%)、などの順となっている。一方で、「そのことでは頼りたいと思わない」と答えた者の割合は12.6%、「あてはまる人はいない」と答えた者の割合は17.8%となっている(複数回答)。

頼りたいと思う相手 (Q5 (4) 病気で何日か寝込んだ時に看病や世話を頼みたい相手)
(複数回答)



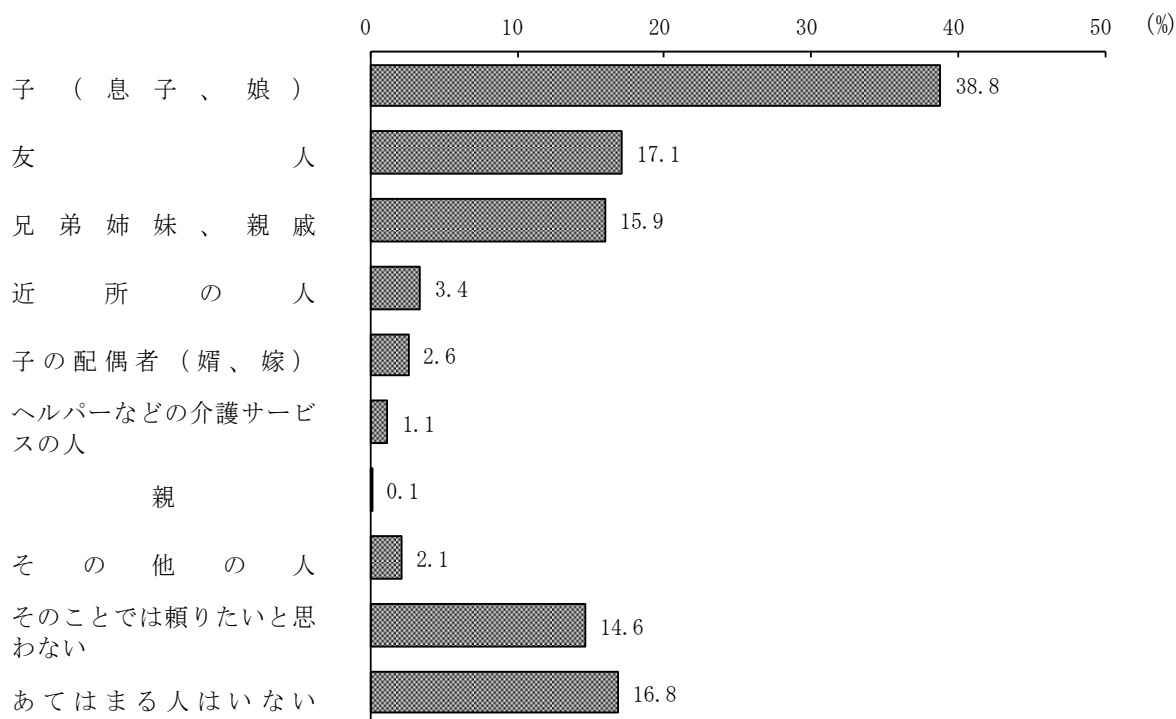
Q5 あなたは、次の事柄について、あてはまると感じる人はいますか。

(7) 心配ごとや悩み事を相談したい相手

頼りたいと思う相手のうち、(7) 心配ごとや悩み事を相談したい相手について聞いたところ、「子(息子、娘)」を挙げた者の割合が38.8%と高く、以下、「友人」(17.1%)、「兄弟姉妹、親戚」(15.9%)、などの順となっている。一方で、「そのことで頼りたいと思わない」と答えた者の割合は14.6%、「あてはまる人はいない」と答えた者の割合は16.8%となっている(複数回答)。

頼りたいと思う相手 (Q5 (7) 心配ごとや悩み事を相談したい相手)

(複数回答)



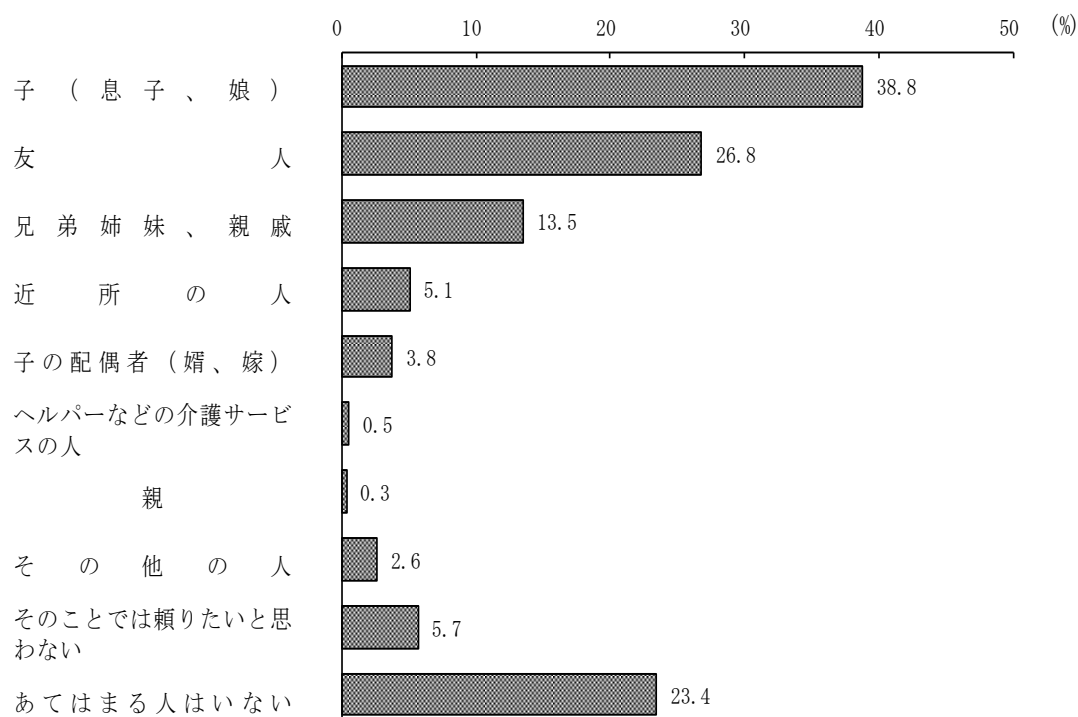
Q 5 あなたは、次の事柄について、あてはまると感じる人はいますか。

(10) 一緒にいるとほっとする相手

頼りたいと思う相手のうち、(10) 一緒にいるとほっとする相手について聞いたところ、「子（息子、娘）」を挙げた者の割合が38.8%と高く、以下、「友人」（26.8%）、「兄弟姉妹、親戚」（13.5%）、「近所の人」（5.1%）などの順となっている。一方で、「あてはまる人はいない」と答えた者の割合は23.4%となっている（複数回答）。

頼りたいと思う相手（Q 5 (10) 一緒にいるとほっとする相手）

（複数回答）



(6) グループ活動への参加意向 (Q6 (1) ~ (3))

Q6 グループ活動についてお聞きします。(1) ~ (3) 過去、現在、未来について、あなたが参加していた、または、現在参加している、将来参加してみたいグループ活動はありますか。(ア) ~ (ク) から、あてはまるものをいくつでもあげてください。

- (1) 中年期(30~50代)に参加していた
- (2) 現在参加している
- (3) 将来参加してみたい

- (ア) 自治会や町内会
- (イ) ボランティア・NPO
- (ウ) 宗教団体 (檀家や氏子を含む)
- (エ) 政治団体
- (オ) P T Aや保護者会
- (カ) 趣味の会やスポーツの集まり
- (キ) 同じ学校出身者の会やグループ
- (ク) 該当するものはない

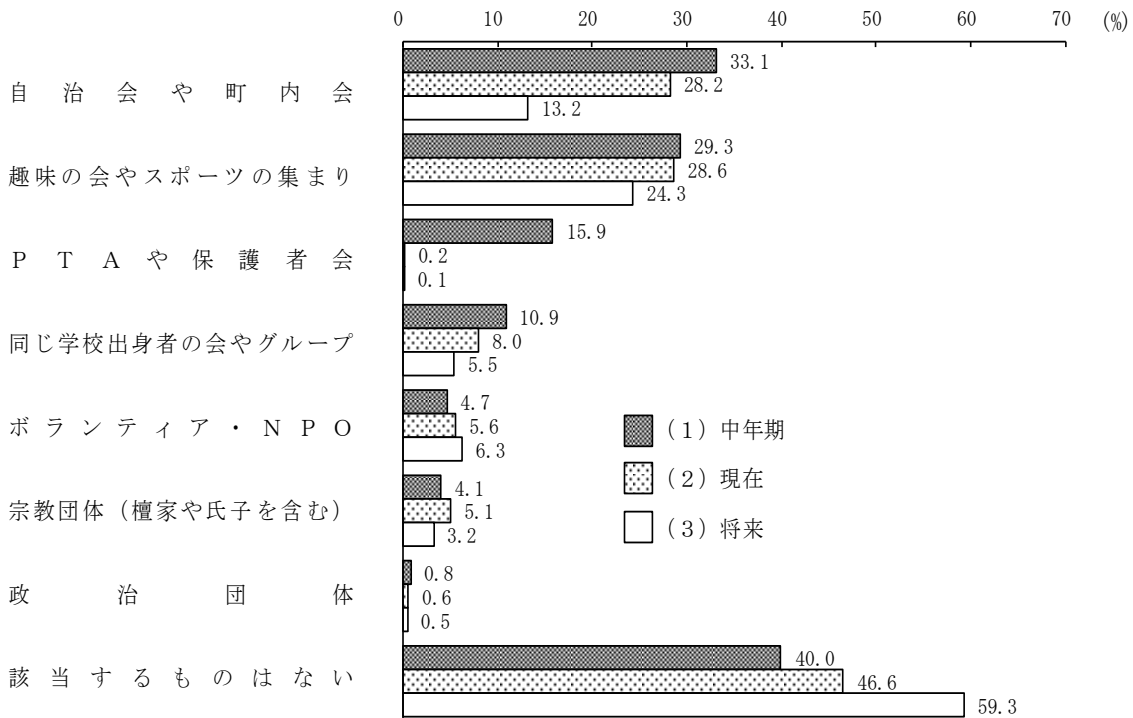
(1) 中年期(30~50代)、(2) 現在、(3) 将来の、参加していた、または、現在参加している、将来参加してみたいグループ活動について聞いたところ、(1) 中年期では、「自治会や町内会」(33.1%)、「趣味の会やスポーツの集まり」(29.3%)、「P T Aや保護者会」(15.9%)などが挙げられている。

(2) 現在では、「趣味の会やスポーツの集まり」(28.6%)、「自治会や町内会」(28.2%)、「同じ学校出身者の会やグループ」(8.0%)などが挙げられている。

(3) 将来では、「趣味の会やスポーツの集まり」(24.3%)、「自治会や町内会」(13.2%)、「ボランティア・NPO」(6.3%)などが挙げられている。(複数回答)。

グループ活動への参加意向 (Q6 (1) ~ (3))

(複数回答)



(商品の購入・振り込み詐欺・経済的な暮らし向きに関する事項)

(7) 振り込み詐欺の被害防止・被害防止実態 (Q8・Q8-SQ)

Q8 振り込み詐欺の被害を防ぐために、どのようなことが必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。

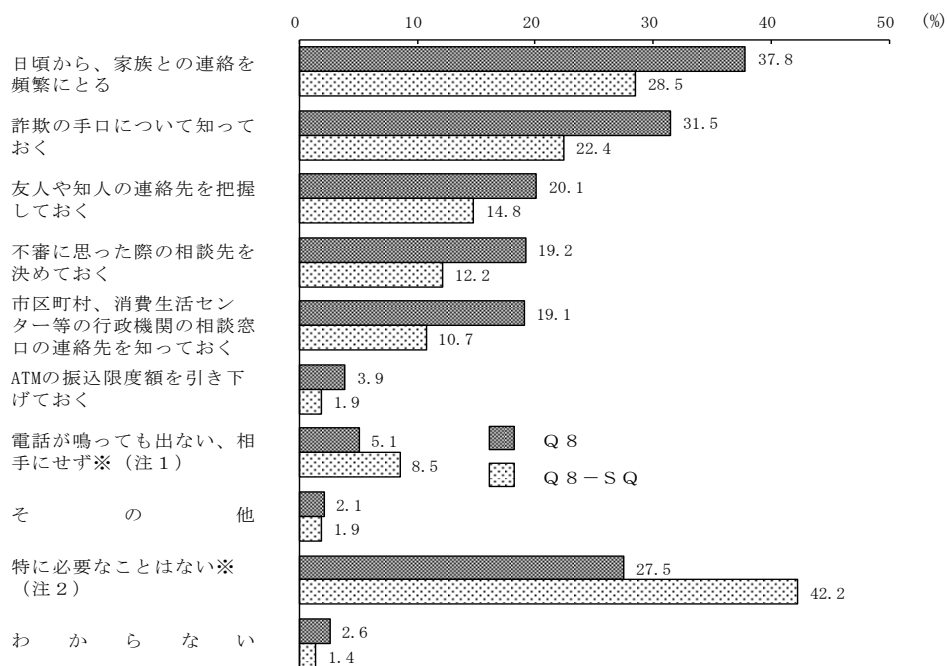
Q8-SQ では、あなたは、振り込み詐欺の被害を防ぐために、実際にどのようなことを行っていますか。この中からいくつでもあげてください。

- (ア) 日頃から、家族との連絡を頻繁にとる
- (イ) 友人や知人の連絡先を把握しておく
- (ウ) 市区町村、消費生活センター等の行政機関の相談窓口の連絡先を知っておく
- (エ) 不審に思った際の相談先を決めておく
- (オ) ATMの振込限度額を引き下げておく
- (カ) 詐欺の手口について知っておく
- その他 ()
- (キ) 特に必要なことはない
- わからない

振り込み詐欺の被害を防ぐために、「Q8：どのようなことが必要だと思うか」、「Q8-SQ：実際にどのようなことを行っているか」それぞれについて聞いたところ、どちらの設問でも、「日頃から、家族との連絡を頻繁にとる」(Q8：37.8%、Q8-SQ：28.5%)、「詐欺の手口について知っておく」(Q8：31.5%、Q8-SQ：22.4%)、「友人や知人の連絡先を把握しておく」(Q8：20.1%、Q8-SQ：14.8%)、「不審に思った際の相談先を決めておく」(Q8：19.2%、Q8-SQ：12.2%)、「市区町村、消費生活センター等の行政機関の相談窓口の連絡先を知っておく」(Q8：19.1%、Q8-SQ：10.7%)の順となっている。(複数回答)

振り込み詐欺の被害防止 (Q8・Q8-SQ)

(複数回答)



(注1) 「その他」を挙げた者のうち、自由記入で内容の多かった「電話が鳴っても出ない」「インターホンに回答しない」などを新たに分類している。

(注2) Q8-SQでは「特に行っていることはない」という選択肢。

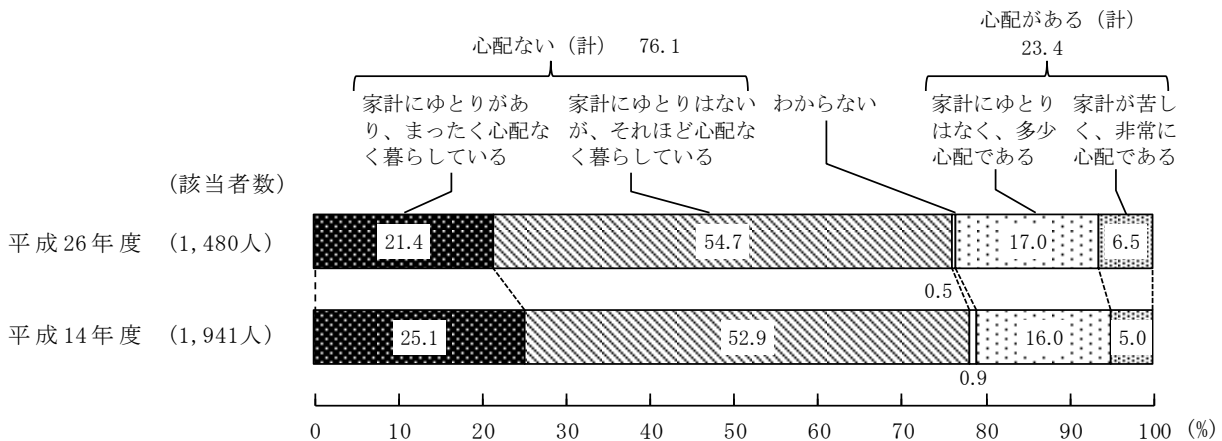
(8) 経済的な暮らし向き (Q9)

Q9 あなたは、ご自分の現在の経済的な暮らし向きについてどのようにお考えですか。この中から1つだけお答えください。

- (ア) 家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている
- (イ) 家計にゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている
- (ウ) 家計にゆとりはなく、多少心配である
- (エ) 家計が苦しく、非常に心配である
- わからない

現在の経済的な暮らし向きについて聞いたところ、『心配ない』とする者の割合が76.1%（「家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている」21.4%と「家計にゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている」54.7%の計）、『心配がある』とする者の割合が23.4%（「家計にゆとりはなく、多少心配である」17.0%と「家計が苦しく、非常に心配である」6.5%の計）となっている。

経済的な暮らし向き (Q9)



(外出・通院に関する事項)

(9) 通院や医療についての困りごと (Q11)

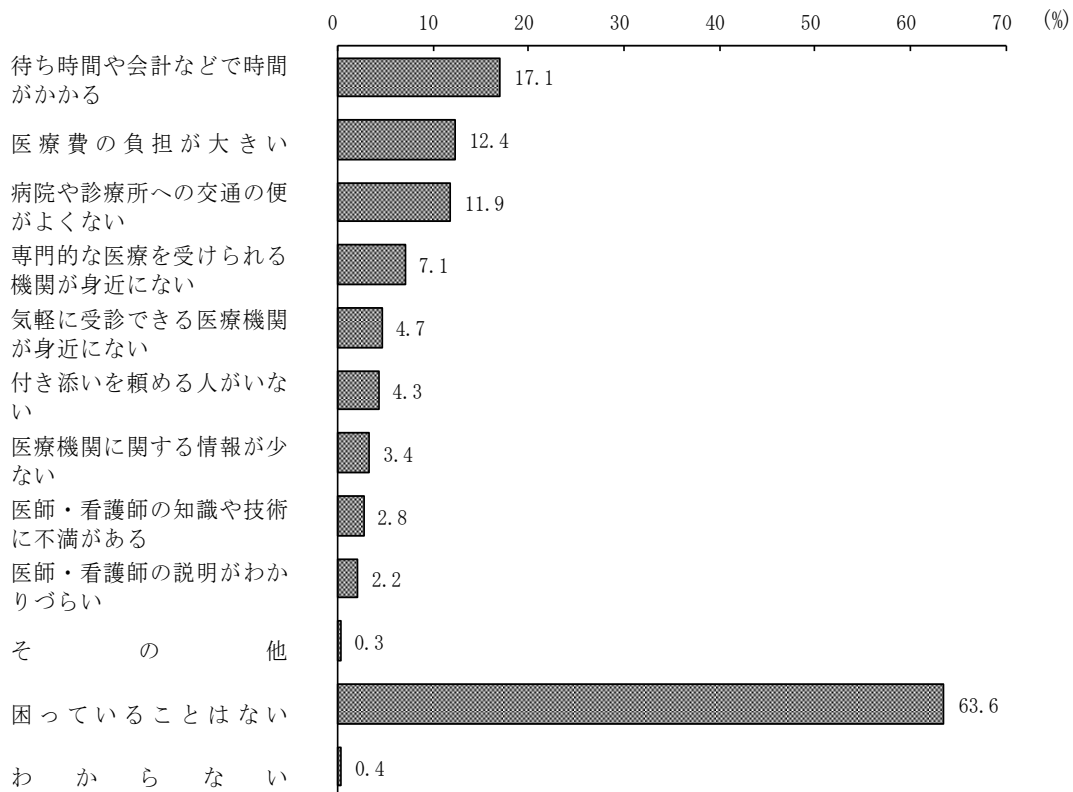
Q11 あなたは、通院や医療について困っていることがありますか。この中からあてはまるものをいくつかつでもあげてください。

- (ア) 医療費の負担が大きい
- (イ) 待ち時間や会計などで時間がかかる
- (ウ) 病院や診療所への交通の便がよくない
- (エ) 専門的な医療を受けられる機関が身近にない
- (オ) 気軽に受診できる医療機関が身近にない
- (カ) 医療機関に関する情報が少ない
- (キ) 医師・看護師の知識や技術に不満がある
- (ク) 医師・看護師の説明がわかりづらい
- (ケ) 付き添いを頼める人がいない
- その他 ()
- (コ) 困っていることはない
- わからない

通院や医療についての困りごとを聞いたところ、「待ち時間や会計などで時間がかかる」(17.1%)、「医療費の負担が大きい」(12.4%)、「病院や診療所への交通の便がよくない」(11.9%)、「専門的な医療を受けられる機関が身近にない」(7.1%)の順となっている。一方で、「困っていることはない」と答えた者の割合は63.6%で過半数となっている(複数回答)。

通院や医療についての困りごと (Q11)

(複数回答)



(将来の準備に関する事項)

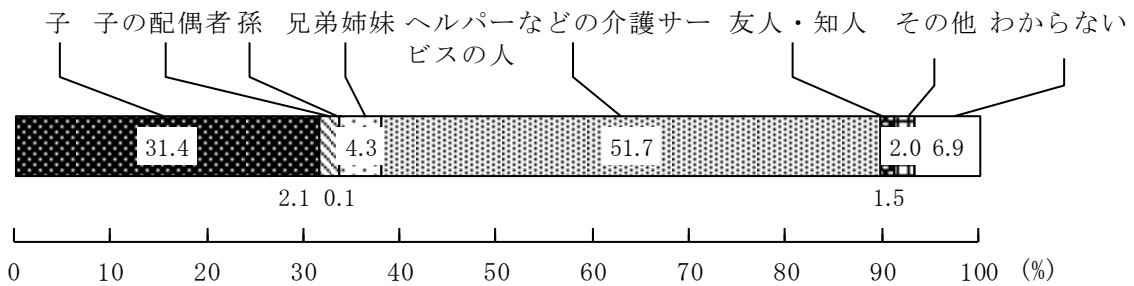
(10) 主たる介護者 (Q12)

Q12 もし仮に、あなたの身体が虚弱になって、日常生活を送る上で介護を必要とするようになった場合、主たる介護はどなたにお願いしたいと思いますか。この中から1つだけお答えください。

- | | |
|-----------|---------------------|
| (ア) 子 | (オ) ヘルパーなどの介護サービスの人 |
| (イ) 子の配偶者 | (カ) 友人・知人 |
| (ウ) 孫 | その他 () |
| (エ) 兄弟姉妹 | わからない |

介護を必要とするようになった場合、主たる介護者は誰にお願いしたいか聞いたところ、「子」と答えた者の割合が31.4%、「子の配偶者」と答えた者の割合が2.1%、「孫」と答えた者の割合が0.1%、「兄弟姉妹」と答えた者の割合が4.3%となっているが、「ヘルパーなどの介護サービスの人」と答えた者の割合が51.7%と過半数になっている。

主たる介護者 (Q12)



(11) 介護の場所：要介護度（Q13（1）～（3））

Q13 もし仮に、あなたが、次に挙げる（1）～（3）のような、介護や支援が必要な状態になった場合、どちらの場所で生活したいと思いますか。それぞれの項目について、（ア）～（エ）から1つずつお答えください。

- （1）日常生活を行う能力がわずかに低下し、何らかの支援が必要な状態
- （2）立ち上がるときや歩行が不安定。排泄や入浴などに一部または全介助が必要な状態
- （3）一人で立ち上がったり歩いたりできない。排泄や入浴などに全介助が必要な状態

- （ア）現在の自宅
- （イ）子や孫、兄弟姉妹など親族の家
- （ウ）高齢者向けのケア付き住宅
- （エ）特別養護老人ホーム等の介護施設
- （オ）わからない

要介護度の段階別に、（1）（2）（3）のそれぞれの状態になった場合、どこで生活したいと思うか聞いたところ、

（1）では「現在の自宅」と答えた者の割合が66.6%、「子や孫、兄弟姉妹など親族の家」と答えた者の割合が5.5%、「高齢者向けのケア付き住宅」と答えた者の割合が9.5%、「特別養護老人ホーム等の介護施設」と答えた者の割合が10.3%と、6割以上が「現在の自宅」と回答している。

（2）では「現在の自宅」と答えた者の割合が27.0%、「子や孫、兄弟姉妹など親族の家」と答えた者の割合が9.0%、「高齢者向けのケア付き住宅」と答えた者の割合が20.3%、「特別養護老人ホーム等の介護施設」と答えた者の割合が29.2%となっている。

（3）では「現在の自宅」と答えた者の割合が15.5%、「子や孫、兄弟姉妹など親族の家」と答えた者の割合が6.3%、「高齢者向けのケア付き住宅」と答えた者の割合が18.4%、「特別養護老人ホーム等の介護施設」と答えた者の割合が42.6%となっている。

結果を比較すると、要介護度の段階が進むほど、「特別養護老人ホーム」（10.3%→29.2%→42.6%）と答えた者の割合が増加し、「現在の自宅」（66.6%→27.0%→15.5%）と答えた者の割合が減少する一方で、「子や孫、兄弟姉妹など親族の家」と答えた者の割合にはあまり差がみられない。

介護の場所：要介護度（Q13（1）～（3））

